

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

(2005年4～6月期)

第37回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - （1）前期比（平成17年1～3月との比較）
  - （2）前年同期比（平成16年4～6月との比較）
  - （3）来期見通し（平成17年7～9月の見通し）
5. 業種別の景気動向
  - （1）製造業
  - （2）建設業
  - （3）卸売業
  - （4）小売業
  - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	214社
回答率	42.8%
(業種別)	
製造業	84社
建設業	39社
卸売業	21社
小売業	34社
サービス業	36社
合計	214社

## (2) 実施時期

平成17年4～6月期（平成17年7月に実施）

## (3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

## 2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算D I = (好転 " ) - (悪化 " )

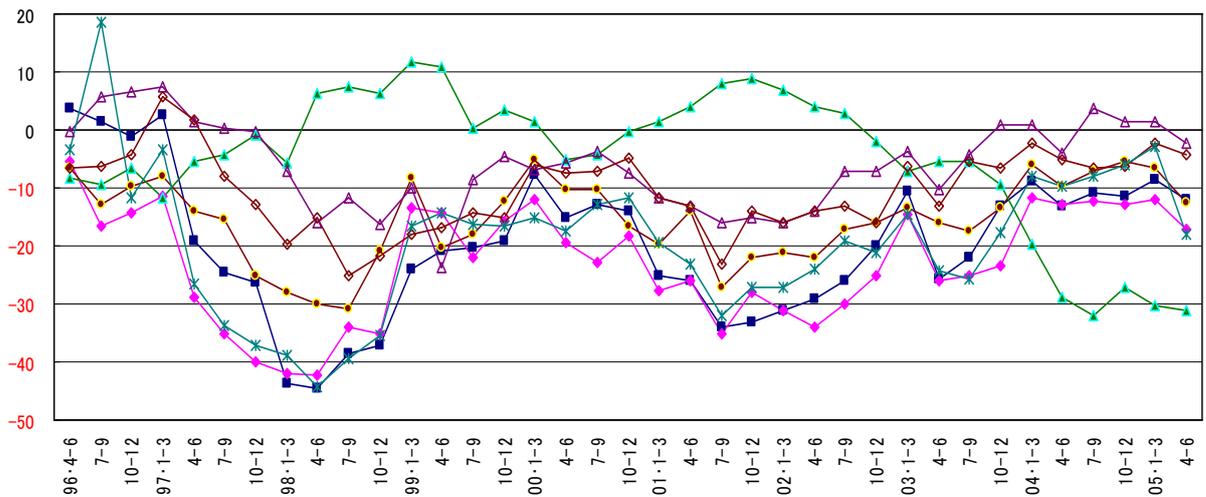
資金繰りD I = (好転 " ) - (悪化 " )

仕入価格D I = (下落 " ) - (上昇 " )

雇用状況D I = (不足 " ) - (過剰 " )

設備投資D I = (拡大 " ) - (減少 " )

業況D I = (好転 " ) - (悪化 " )



前年同期比 (全企業D I の推移)

	10-12	03/1-3	4-6	7-9	10-12	04/1-3	4-6	7-9	10-12	05/1-3	4-6
■売上	-20.2	-10.7	-25.6	-22.0	-13.1	-8.9	-13.2	-10.8	-11.3	-8.7	-12.1
◆採算	-24.8	-14.7	-26.0	-25.0	-23.4	-11.7	-12.8	-12.2	-12.7	-12.0	-17.2
●資金繰り	-16.3	-13.3	-16.1	-17.4	-13.5	-6.1	-9.6	-7.0	-5.4	-6.7	-12.6
▲仕入価格	-2.3	-7.1	-5.4	-5.5	-9.4	-19.7	-28.8	-31.9	-27.0	-30.3	-31.2
△雇用状況	-7.4	-3.6	-10.3	-4.2	0.8	0.9	-4.1	3.8	1.5	1.4	-2.3
◇設備投資	-16.3	-6.2	-13.2	-5.5	-6.6	-2.3	-5.0	-6.6	-6.4	-2.4	-4.2
*業況	-21.3	-14.7	-24.4	-14.8	-17.6	-8.0	-9.6	-8.0	-5.9	-2.9	-18.1

### 3. 概況

#### 「景気の回復、地方に波及せず」

##### (1) 今期の特徴

前期比のD I 値は、前期が年度末需要時期ということもあり、今期はその反動か前回調査より悪化している。卸売・サービス業で数値が好転したが、製造業にひと段落の感があり、建設業・小売業が厳しい。

前年同期比のD I 値は、前回調査より若干悪化をみせた。建設業・小売業は数値的には改善したが、小売業は、消費低迷・厳しい競争は変わらず、公共事業縮小が続く建設業がここでも足を引っ張る形となり、依然として業種の中ではマイナス幅が大きい。比較的好調であった製造業も電子部品関係が在庫調整中の模様。

政府・日銀の景気判断は明確な回復基調を示しているが、地方には波及していないことが見て取れる。

##### (2) 来期の見通し

全体の数値で見ると、D I 値は前回調査より改善した。業種別では、サービスがお盆・夏休みへの期待かいい数値を示した。建設・小売業も前回調査からは改善しているが数値的にはまだ厳しく（マイナス幅が大きい）、本格回復という感じではない。

コメントの中では聞かれたのは、原油高騰による仕入・経費アップで、今後の原油動向に注目したい。

##### (3) 経営上の問題点

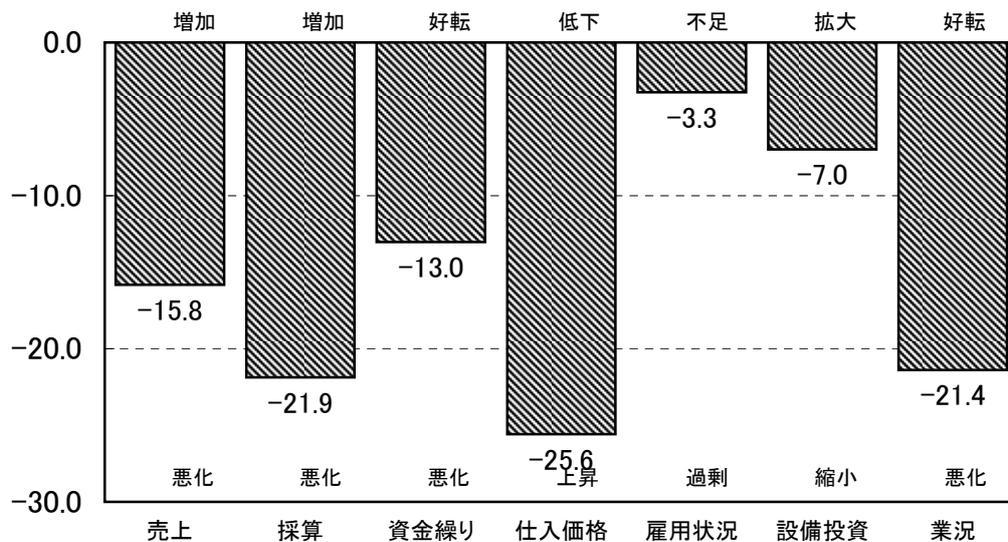
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が圧倒的1位で、2位が「製品（販売）単価の低下・上昇難」となっており、長引く消費の停滞による景気低迷が続いている模様。3位に「原材料価格の上昇」となっている。

##### (4) 今後の対応策

今回も、「新規市場を開拓したい」と「その他合理化を実施したい」が今後の対応策の二本柱。3位には前回同様に「人件費を削減したい」が続く。

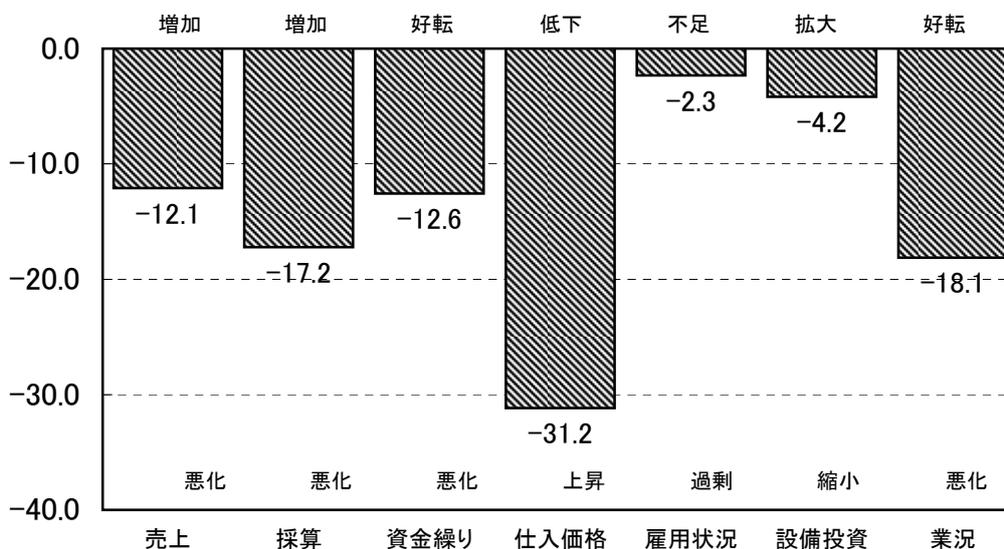
## 4. 県内の景気動向(全業種)

前年比(平成17年1～3月比)



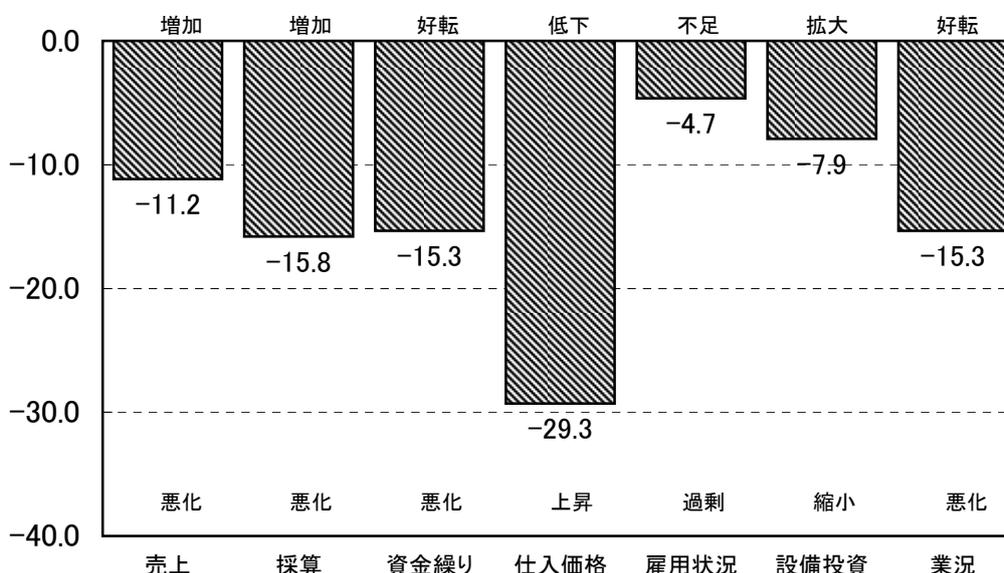
前期比D I値は全体的にみると、前回調査より悪化した。卸売・サービス業の一部項目で改善をみせた。ただ、他業種では総じて悪化し、特に公共工事減の建設業、個人消費低迷続く小売業のマイナス幅が大きい。

前年比同期比(平成16年4～6月比)



前年同期比D Iは前回調査より悪化した。新年度に入り、一部業種・項目では改善をみせたものの、他のほとんどでD I値がマイナス。ここでも、建設業・小売業が厳しい数値を示している。

来期見通し(平成17年7～9月見通し)

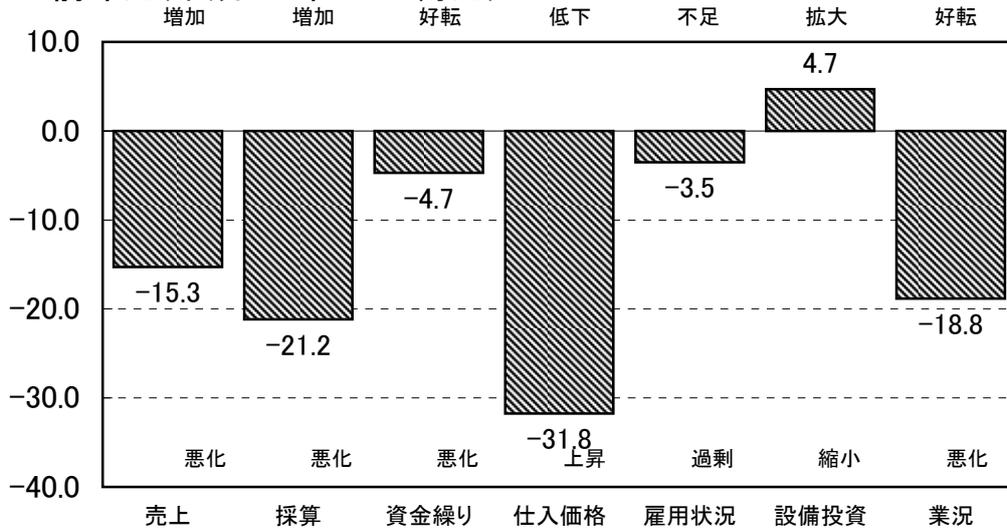


来期見通しのD I値は依然としてマイナスながらも、前回調査よりも好転をみせた。サービス業のみが夏休みへの期待からか良好な数値を示すが、建設・小売業は数値的には改善したが、マイナス値は全業種中最も悪い状態が続く。

## 5. 業種別の景気動向

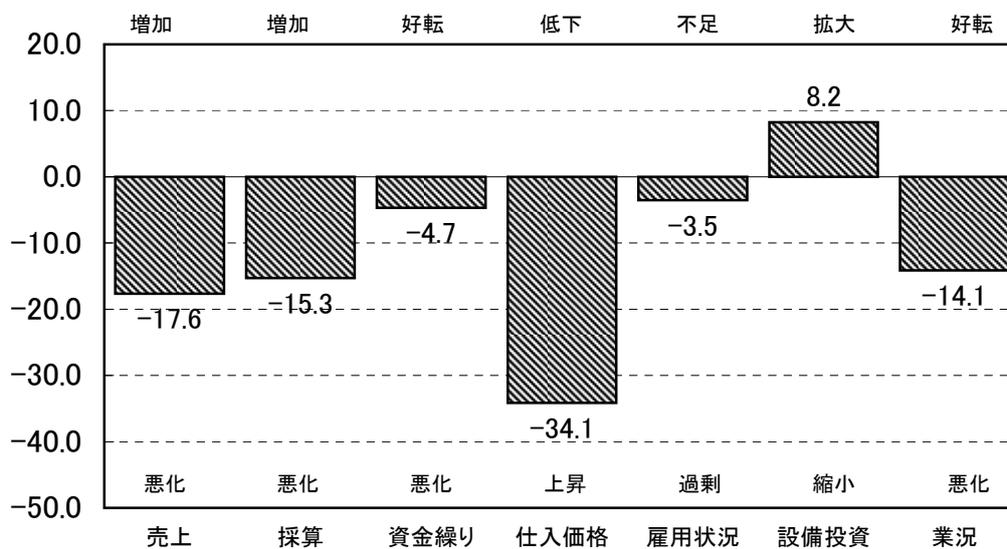
### (1) 製造業

前年比(平成17年1～3月比)



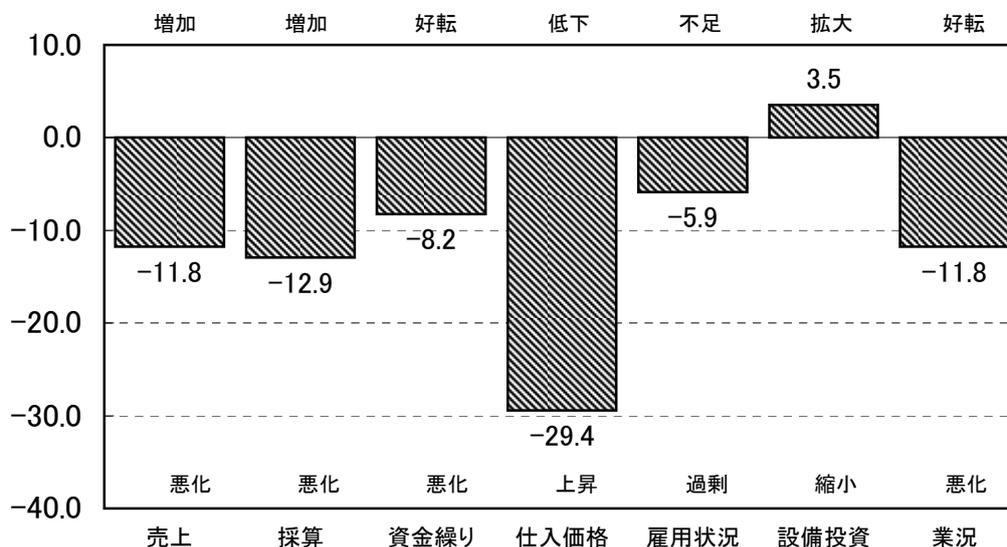
引き続き好調な焼酎、自動車関連機器、一部中元向け商品の動きもあるが、年度末需要の反動があった印刷・鉄工業、「市場の低迷」(IC・産業用CCD)のほか、原材料高等の悪影響が重なり、前回調査より悪化している。

前年比同期比(平成16年4～6月比)



「市況が好転」(タイヤ関連)、「業界の活況」(一般機械器具製造)等一部業界では活況を呈しているが、産業用CCDやその他の製造関連には受注の低下がみられる。また、原油高騰により収益力低下の声が多く聞かれた。

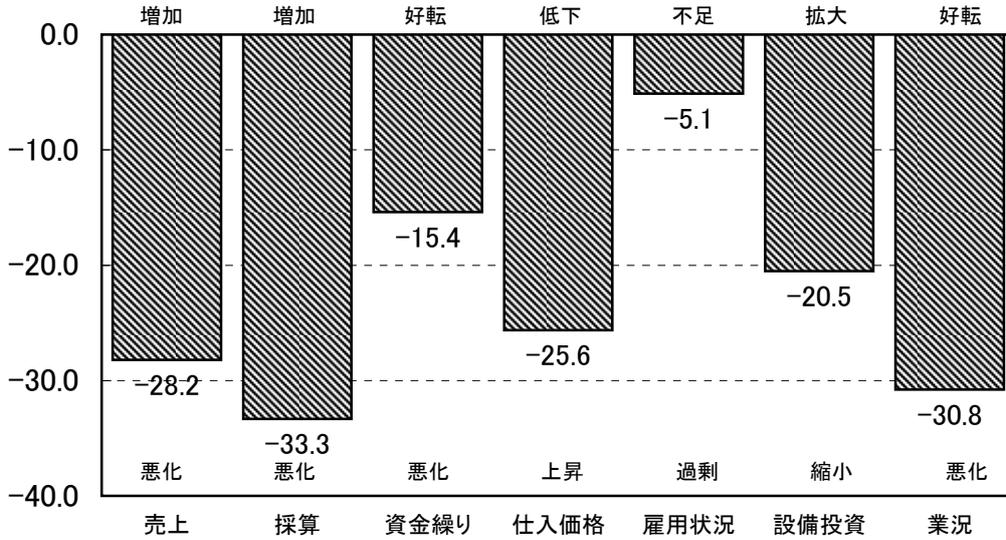
来期見通し(平成17年7～9月見通し)



ここでも半導体関連が弱含み、原材料高騰等悪い要因が多いが、「大きな変化が無い」、「受注増が見込めない」、「期待できない」、「不透明」と不変の回答が多い。DI値は前回調査より改善しているが、「好調」が多くなったわけではないようだ。

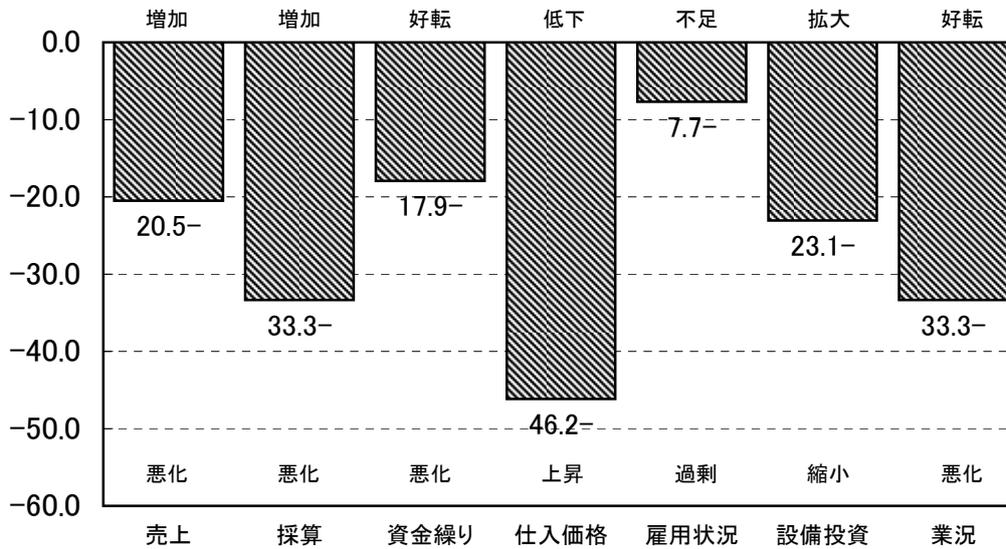
## (2) 建設業

前年比(平成17年1～3月比)



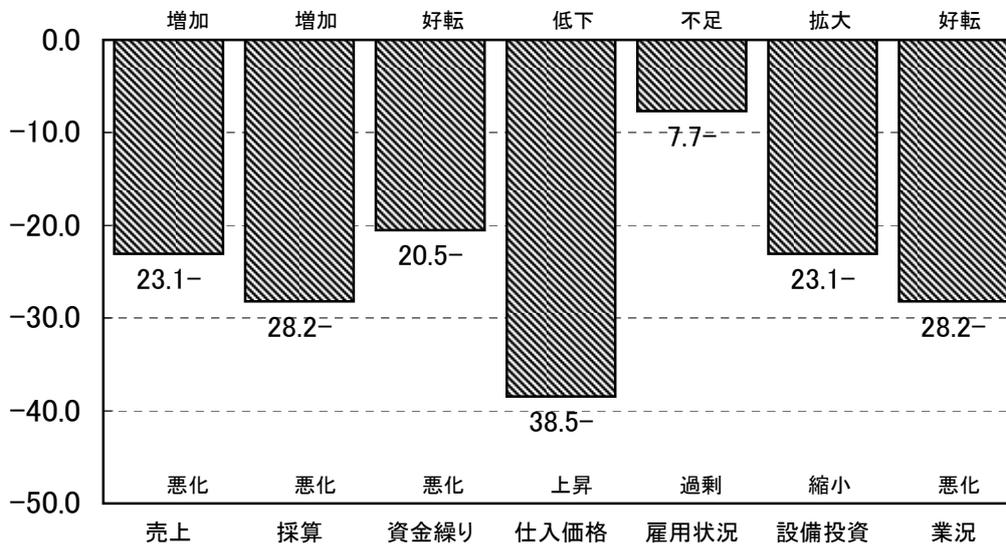
一部企業では受注増の声も聞かれるが、低採算状態は不変。また、今期は前期に年度末需要があったため、「4～6月期は例年仕事量が少ない」こともあり、依然として厳しいDI値を示している。

前年比同期比(平成16年4～6月比)



公共工事の削減が続いている建設・土木業関連では、「前年同期と変わらない」との声が多い。DIの数値自体は売上は前回より改善をみせたが、コメントをみると「悪い状態が続いている（不変）」との声が多く聞かれた。

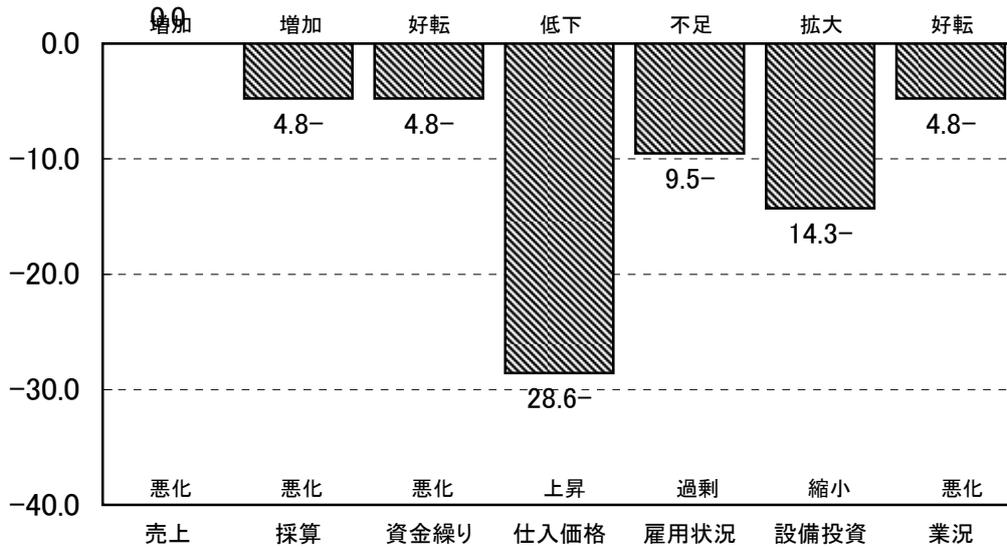
来期見通し(平成17年7～9月見通し)



依然として公共工事の発注減の傾向は続くものと予想されるが、年度初めの最悪期を抜けDI値は前回調査よりも若干の改善をみせた。しかし、他の業種と比べ未だ厳しい水準が続いている。

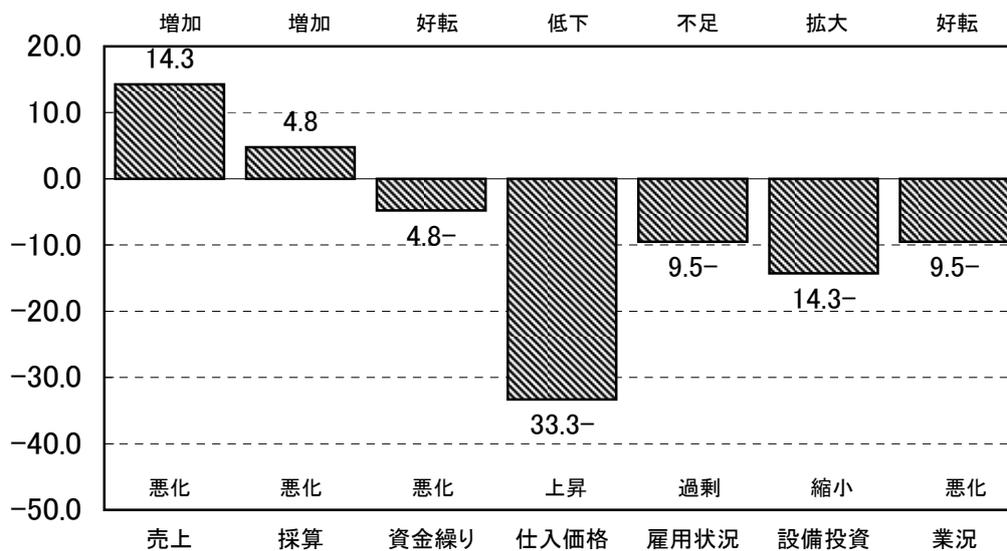
### (3) 卸売業

前年比(平成17年1～3月比)



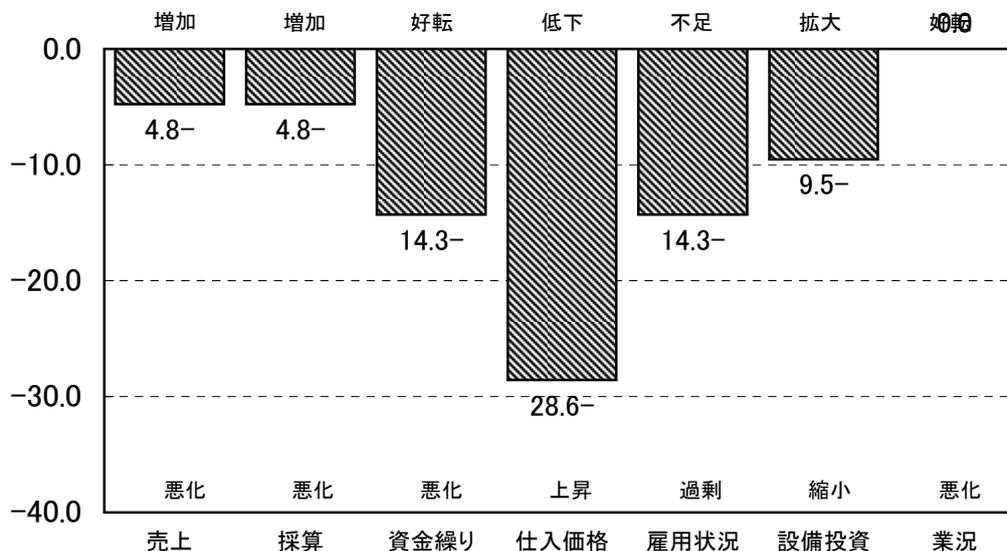
一部地域（宮崎、日南）で大手商業施設・スーパーの開業を懸念する声が聞かれるが、「ビール・発泡酒のオープン価格化で収益改善」、「焼酎ブーム」（食料品卸）、「一般消費は改善」（建材卸）と前回調査より改善をみせた。

前年比同期比(平成16年4～6月比)



焼酎ブームに加えビール・発泡酒のオープン価格化により、中元向け需要効果もあり、売上DI値はプラスに転じた。「前年より少し良くなってきた」（機械工具）、一方では大手スーパーの進出等の影響で前回調査値を下回った。

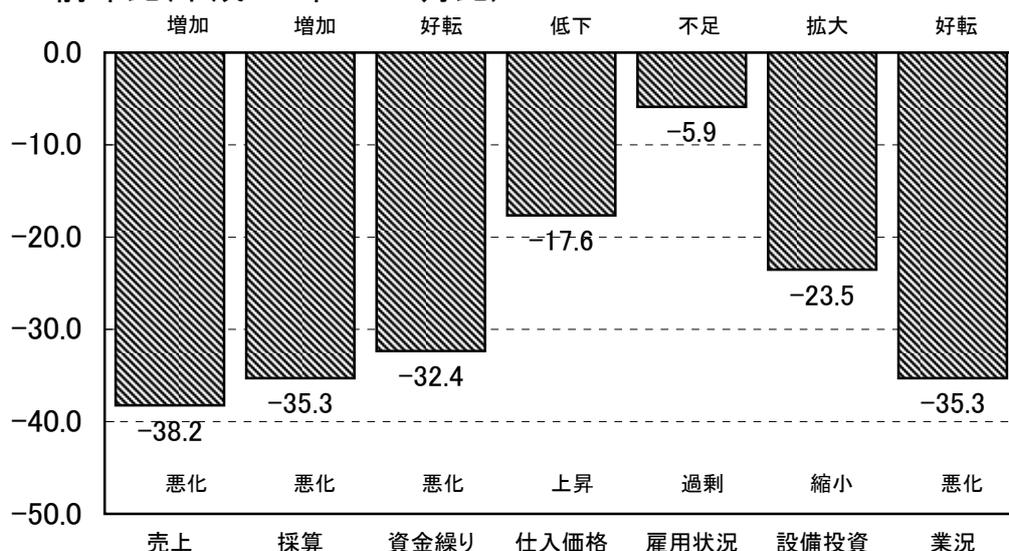
来期見通し(平成17年7～9月見通し)



「焼酎ブームの上乗せ」、「経営の見直し」を見込む一部企業があるものの、「季節的要因」（機械工具）、「大手スーパーの進出による地元商店の売上減」（青果卸）など厳しい状況は不変の様相。

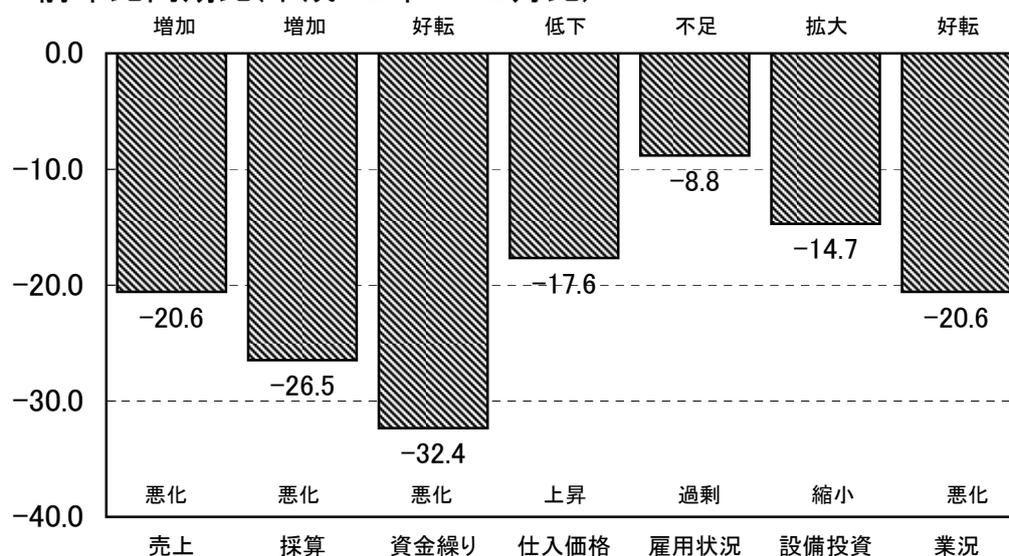
## (4) 小売業

前年比(平成17年1~3月比)



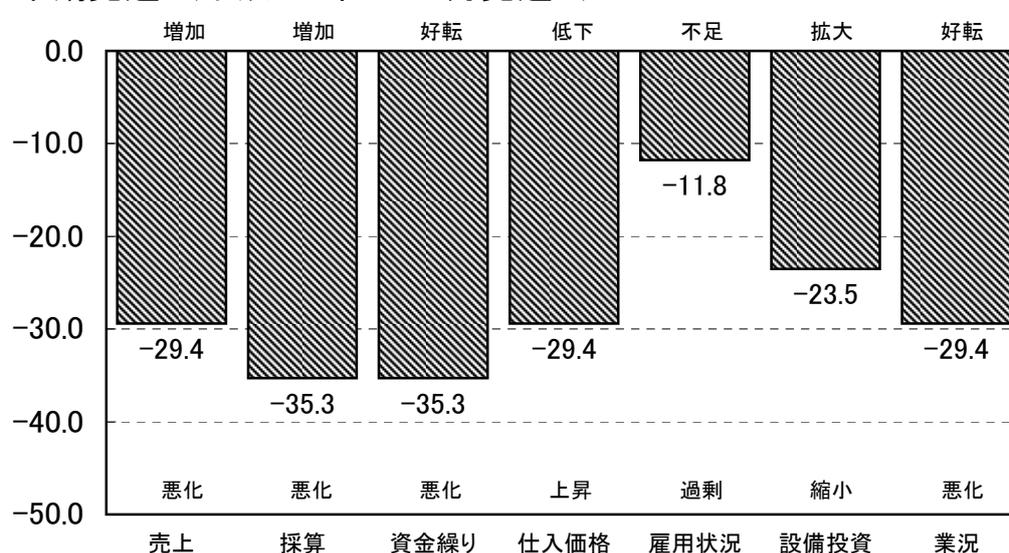
「季節的要因で好況感」(自動車部品)と一部では好転しているが、「悪化したまま不変」(食料品)、「大型SCのオープン」の声は宮崎市だけでなく日南・串間からも聞かれる。前期比DI値は、全業種中最も悪い水準。

前年比同期比(平成16年4~6月比)



自動車販売整備部品は業界の好調を受け好転、「客単価の伸びが悪い」(観光土産)、「毎年悪化」(カメラ写真販売)に加え、大型SC出店による影響も大きく、前年同期比DIは相変わらず低水準。

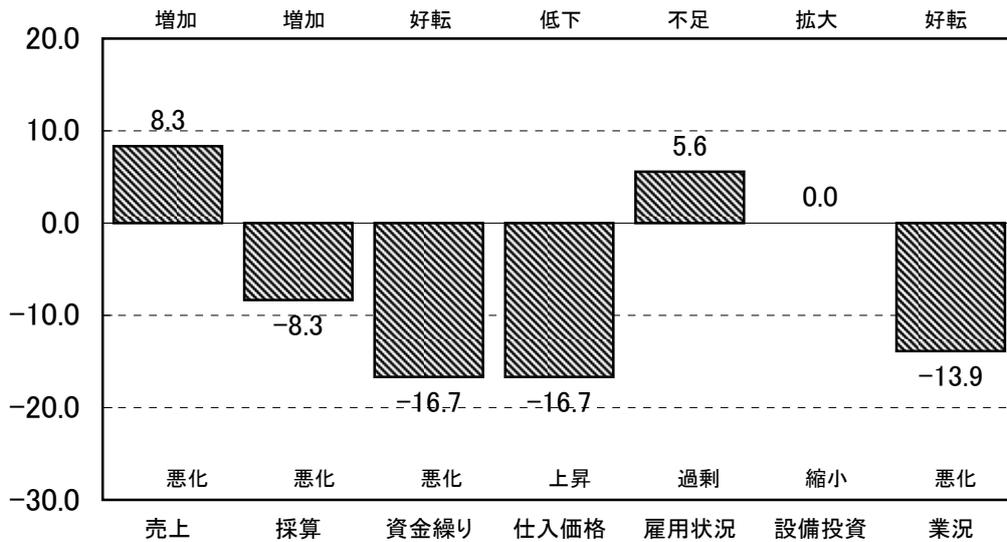
来期見通し(平成17年7~9月見通し)



一部では「市町村合併による特需」(コンピュータ)、「引き続き販売好調」(自動車販売)のような企業もあるが、宮崎市内の小売店からは「大型SC出店による影響」が多く聞かれた。その他にも、「官公庁の予算縮小」(文具・雑貨)、「構造的な停滞」(写真カメラ)と依然として厳しい数値である。

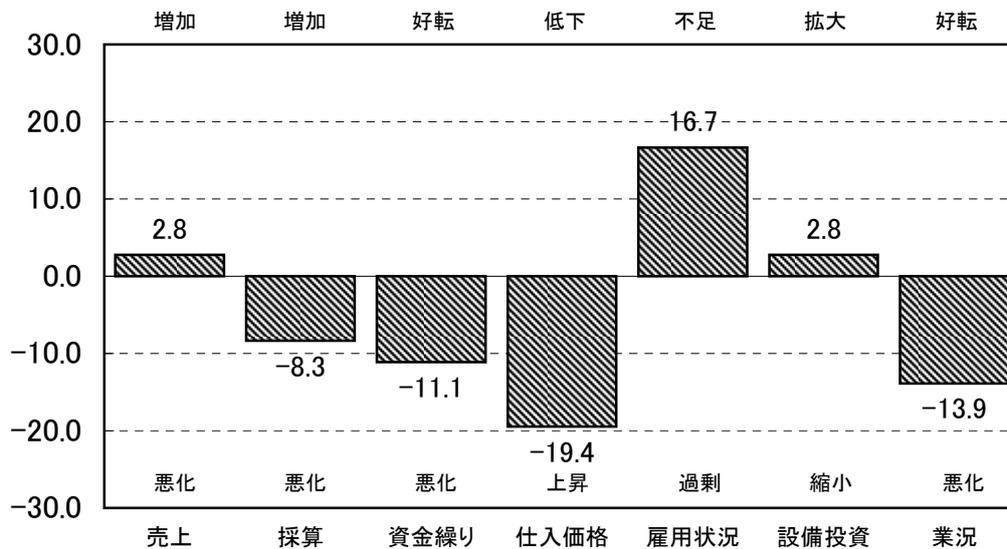
## (5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前年比(平成17年1~3月比)



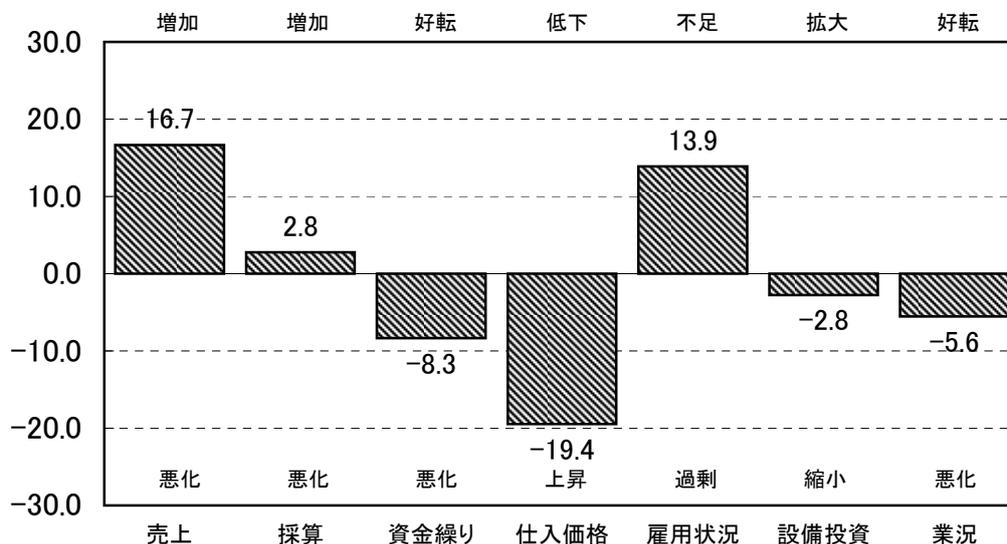
「民間の受注量が増えた」(建築設計)、「売上は上昇している」(警備保障)と一部企業が貢献し、売上DI値は前回調査より改善。しかし、「景況感が変わらず」(コンピュータ販売)、「燃料の高騰」(運送業)、「先が見えない」(ホテル・宿泊)も多く、業況DIは悪化を示した。

前年比同期比(平成16年4~6月比)



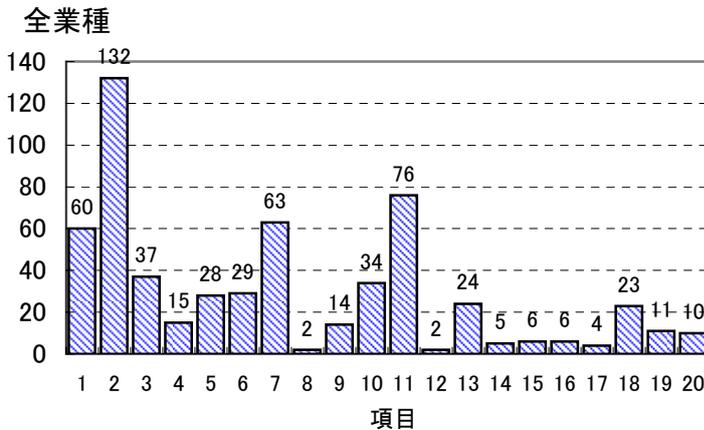
一部宿泊関連で全国植樹祭の反動が聞かれたうえ、「宮崎の春の観光が年々悪化」とホテル宿泊関係は明るい声がない。タクシー業も「料金値下げ」で厳しい模様。その他にも、仕入・材料の上昇により採算悪化と全体的には依然として低水準。

来期見通し(平成17年7~9月見通し)



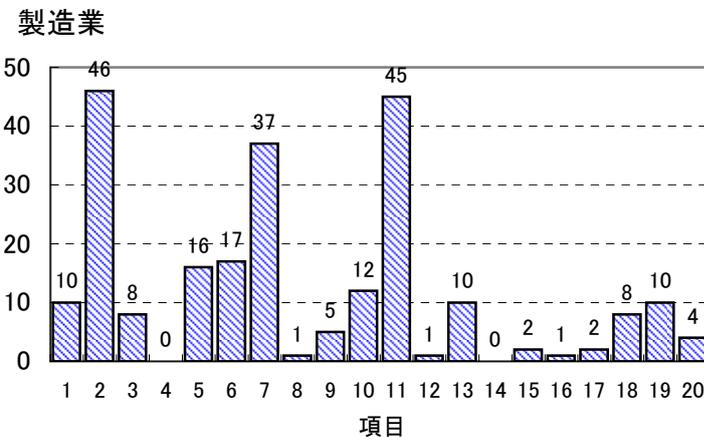
「受注見込み有り」(広告代理店)、「社内体制の変革」(コンピュータ販売)他、お盆や夏休みに向けての期待感が売上・採算・業況のDI値が好転。ただ、コメントでは厳しい状況は変わらずで、特に宿泊関係が愛知博覧会に客を奪われ厳しいものとみられる。

## 6. 経営上の問題点



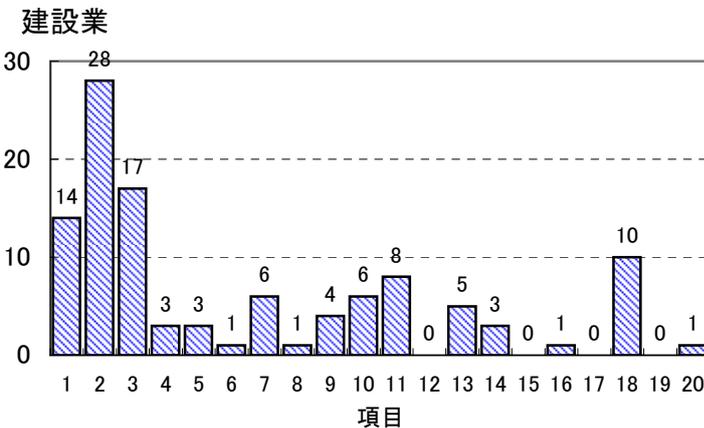
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 生産設備の不足・老朽化



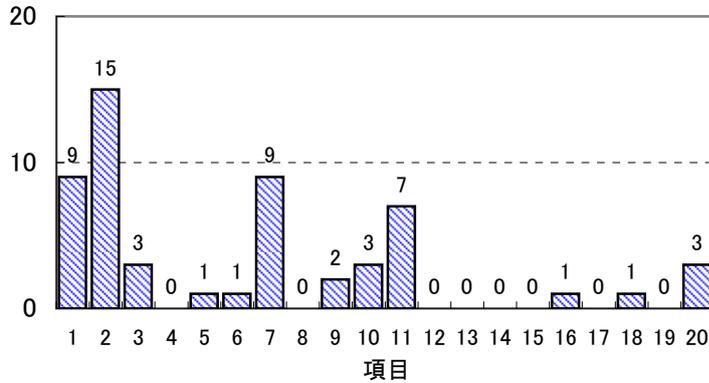
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 取引条件の悪化
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足             | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

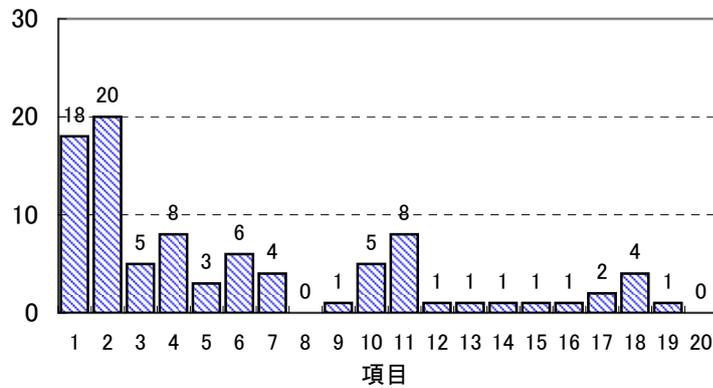
### 卸売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

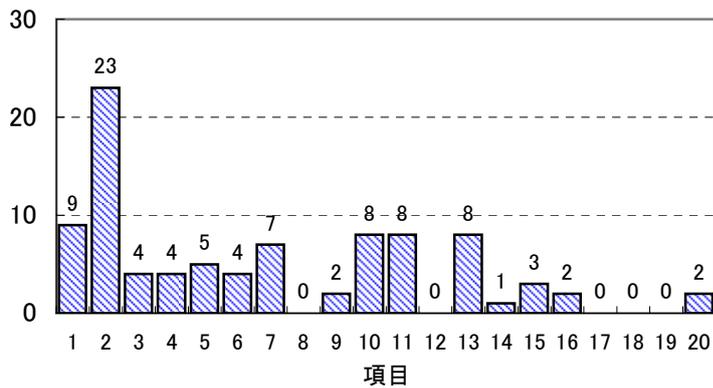
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 新規参入業者の増加
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 製品ニーズの変化

### サービス業



#### 順位

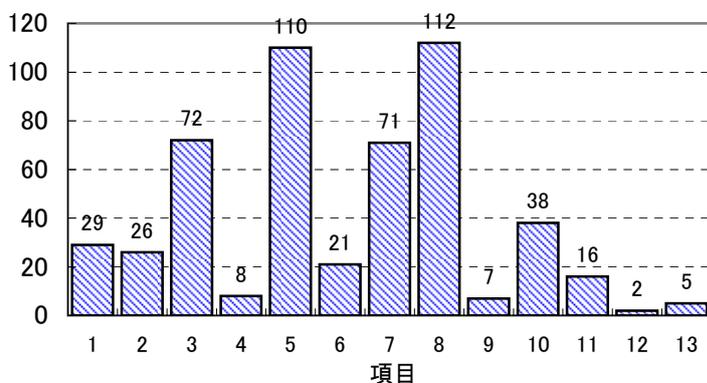
- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 人件費の増加
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 熟練技術者(従業者)の不足

#### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

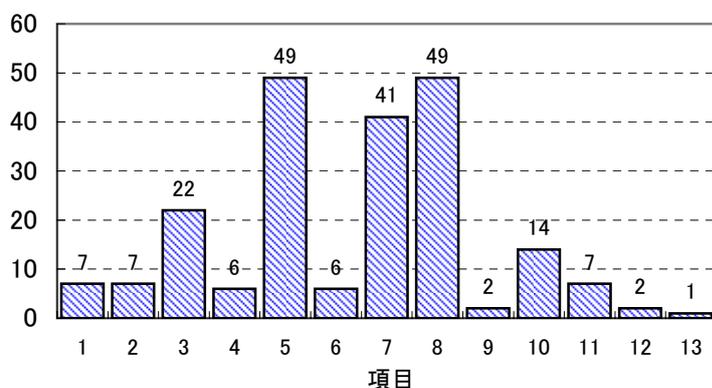
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

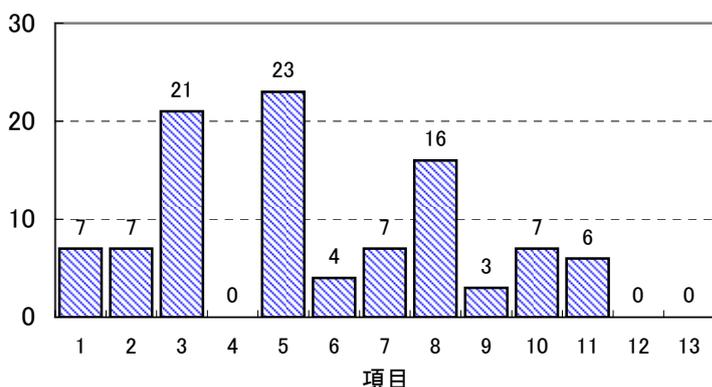
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

建設業



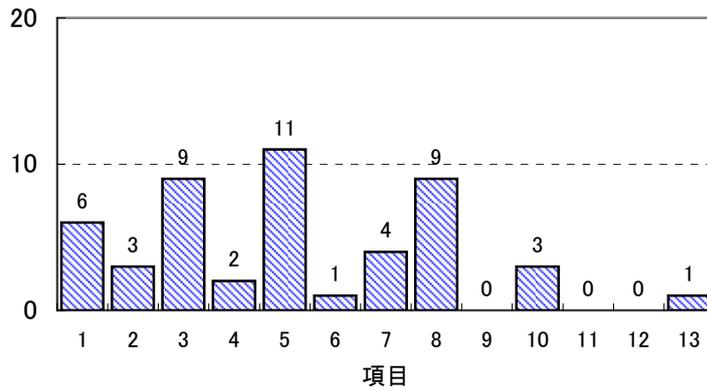
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 雇用調整を行いたい

### 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

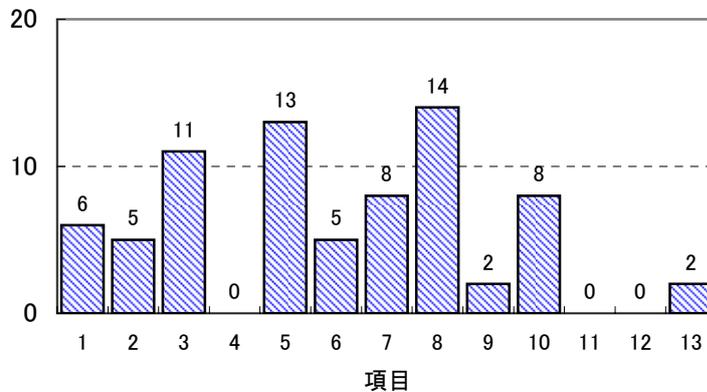
## 卸売業



### 順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

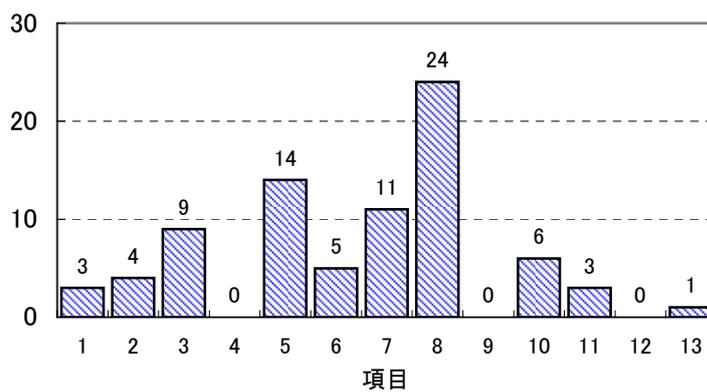
## 小売業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

## サービス業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

## 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	金属製品製造業	宮崎	市町村合併について、どのような経済効果がもたらされるのか。企業活動についてどのような展開が予想されるのか。などの議論がもっとなされて良いのでは…。
製造業	化学品製造	延岡	物流の多様化(環境、リスク、コスト等)を考える上で、JR貨車:船輸送へシフトしづらい。JRコンテナ:取扱が5tまでしかできない。着地も同様。船輸送:危険物取扱がきびしい(細島港)
製造業	原形スレート(セメント瓦)製造	延岡	個人消費に水をかけるような動きは止めて欲しい(政府税調による給与所得者に対する増税案ごときもの)景気の足を引張ることになる。
製造業	木工所	延岡	1. 景気が回復したとしても、従前の状況には戻らないとの予測に立ち、製造業としての設備投資はせず、繁忙時はパート・アルバイトの採用で、対応していく。2. 雇用調整は一段落したが、今後は景気の動向により関連企業間での出向扱いにより、人員の調整をしていく。
製造業	各種自動機械設計製作	日向	地域製造業の活性化対策が望ましい。
製造業	タイヤコード製造1	日向	特になし。
製造業	種鶏業	日向	我々の業界は売上に対して設備が多額ですので借入償還の長い国策金融機関の存続を強く希望しています。
製造業	自動車専用部品製造	日南	1.海外輸出の物流コスト等を考えると海外の生産拠点を推進している。進出に関するアドバイスがほしい。2.人材育成を早急に進める必要がある。各階層別の教育が必要。教育関係のアドバイスをお願いしたい。場所・人・金の援助をお願いします。
製造業	金属加工業	日南	横ばいの状態が続くのか?新年度になって新人事で稼働しはじめたが、今後その結果がでてくるのか?
製造業	紙・パルプ製造	日南	景況感として踊り場からの脱却に向け少しずつ歩を進めているとの見方である。せっかく個人消費に好転の兆しが見られているので、増税あるいは社会保険料の増といった消費の腰を折るような政策はやめていただきたい。原燃料価格の高騰あるいは売価の低迷に対し、利益確保のため種々合理化を行っている最中に、廃棄税の導入は痛い。今後、廃棄物の有効利用に県・市の支援をお願いしたい。
製造業	コンクリート製品	日南	日南工場は県南の公共事業の激減で製造したものは市外、県外へと出るのが多い。そのため日南工場を縮小し、他の県内3工場へ拠点を移すことを検討中
製造業	産業用CCDビデオカメラ製造	串間	特に国・県に対する要望はありません
製造業	焼酎製造販売	串間	創立21年目 今日までの苦労・努力を踏まえ、初心に返り内いあっては「ムリムラ ムダ」を徹底して省き、節約・儉約に努め、お客様あつての「商い」自分以外は皆お客様という姿勢で丁寧・謙虚な対応でよりよい長期安定経営目指して頑張ります。行政サイドの「温かい・親切味ある」ご支援・ご協力をお願い致します。
製造業	省力化機械部品	串間	製品単価の低下=単価競争の激化となるかと思われませんが、国内に残った下請企業が仕事のとりあいをしている為、ますます競争は激しくなるものと思われる。その為には新しい設備への投資が必要で私ども零細企業は非常に頭の痛い問題だと思っております
建設業	建設業	都城	公共工事の増加を希望する。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	歳出の検討あるいは削減もなしに、歳入の不足分を増税で、しかもサラリーマン増税で補うという安易なつじつま合わせが、景気にどれだけ悪影響を与えるか。
建設業	電気工事防災工事	宮崎	公共工事については、分離発注になっているが、民間工事でも分離工事を希みたい。地方企業は大手工事の発注で赤字で受注している状況だ。

建設業	建築工事業	宮崎	東京一極集中、或いは九州では福岡一極集中と言われる中で、地方都市宮崎の建設業界の業況は全くと言って明るさはありません。公共工事の大幅縮減、多参加柄ダンプイン入札志向の転換等もあって、今後は更に建設業者の倒産・廃業が懸念されますが、業者の「数減らし」が思惑としてあるのであれば、倒産による取引企業への影響を回避するためにも、むしろソフトランディングともいえるM&A等の手法を指導願うべきではないでしょうか。
建設業	建築設計監理	宮崎	自治体の設計業務はほとんど入札により最低価格入札者に発注されているため、設計内容に見合う能力を持たない設計事務所が想像できない低価格で落札しており、公共建築の質の低下を招くことは必至である。入札参加氏名については、設計内容に見合った能力・実力のある設計事務所を厳選されるよう望みます。また、最低声援価格を設定していただきたい。
建設業	土木建築工事請負	宮崎	政府は道路特定座減を一般財源化する方向で検討しているようだが、地方の道路整備がおろそかにならないように十分に論議を尽くして欲しい。
建設業	板金塗装屋根工事	宮崎	失業保険の支払いは厳正にチェックしてほしい。うまく法の目をかいくぐって受給しているのを良くみかける。
建設業	建設業	延岡	今年は、昨年の台風が何回も来襲してきて、その災害復旧工事が各市町村等で発注され土木業者も少しは潤っている。災害は無い方が良いが、業者にとつてはありがたい面が大きい。
建設業	電気工事	延岡	公共事業や人件費の削減、効率化をはかって国の借金を減らさないと、今後大変な事になりかねません。そのうち、国自体がつぶれますよ。
建設業	建設業	日向	公共工事の予算増加。
建設業	建設業	日向	地方はまだインフラ整備等も遅れている訳ですので、公共工事の削減には納得いきません。
建設業	建設業	日向	日向市に開校予定と発表された高梁学園大学の誘致を県も積極的に応援してもらいたい。
建設業	建築一式工事	高鍋	昨今の状況より日向灘地震はいつきてもおかしくない時期、特に公共建築物等の耐震対策を早急に対処すべきである
卸売業	総合包装資材の卸売業	宮崎	大型店舗イオンの進出により、県民にとってはプラス面が先行するだろうが、周辺のレストラン、食堂、スーパーの利用客の減少、又、中心部の土日休日で人の減少が余りにも目に付く。早急に手を打ってほしい。
卸売業	建設資材販売施工	延岡	地方に対する均衡のとれた景気対策を望みます。
卸売業	業務用製品卸	日向	零細企業向けの細島港の有効活用。(海外からの共同輸入)商工会議所が窓口になっても良いと思いますが、国、県、市が、スムーズに手続きが進むようバックアップしてほしい。
卸売業	建築資材販売	日向	申しても意味がありません。
小売業	全酒類卸小売	宮崎	時限で買換資産についての税の取扱いおもう一度緩和してほしい。その事で当期に関する税制、登録税など税収も上がるし、建設など景気の後押しもできると思う。
小売業	服飾附属品・手芸	宮崎	街の中に若い人がうろろろしくなくなった。自転車置き場ができ、お客様が喜んでいきます。
小売業	各種時計宝飾其の他	宮崎	省エネルギー・地球環境改善のために、流通業も24時間営業やネオンの照明も規制しなければならぬ時期が1、2年後にはくるでしょう。
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	ここ2～3年を何とか生き残りをかけ乗り切りたい。「元氣な商店再生支援事業」はとても良いと思います。もっと進めていって欲しい。
小売業	酒類食料品小売業	宮崎	景況に左右されず、身の丈にあった攻めの姿勢がとても大事な時だと思えます。
小売業	製作家具一般家具	宮崎	イオンによる出店は、市内各小売店に大きな打撃を与えているようにみえます(デパート百貨店以外にも)。「2年くらいで飽きてくる」という声がありますが、各小売店が2年もつだろうか疑問です。イオンからもたらせる宮崎への利益は何なのでしょう？やはり大資本にはとうてい太刀打ちできません。

小売業	総合食料品スーパー	日向	特にございません。
小売業	プロパンガス販売	日向	民間にできることは民間に、水道事業等。
小売業	観光土産、レストラン	日南	サボテン公園を県立公園化して再開を。住民にPRして自分の住む町は自分で手入れするように広報し、シーニックバイ ウエイの実現を
小売業	百貨店	日南	街の活性化あるのみと考えます。地域に根付いたイベント等の開催で活力ある街づくりを希望します。
小売業	カメラ・写真用品販売	日南	小泉政権の4年間で地方の中小企業はガタガタになりました。馬鹿の一つ覚えでただ郵政の民営化、税収のあがる政策をせず増税をするだけ。優先順位をつけ、緊急に全国の地方の経済復興政策をやって頂きたい。小泉首相は無理でしょう。やる気なし。
サービス業	衣料品販売業	都城	県外大型店の出店と共に完全なオーバーストアである。行政には街づくり条例等計画的街づくりをお願いしたい。400年続いた中央通り商店街は消滅の危機にある。
サービス業	運送業	都城	燃料高騰に対する国策をお願いします。
サービス業	総合ビルメンテナンス	都城	官公庁物件の民営化への移行(指定管理者制度、部分業務のアウトソーシング、官公庁管理職への民間人登用促進)
サービス業	旅館業	宮崎	宮崎全体の景況感としては、農業、漁業も原油の高騰、輸送費のアップ等で低迷しており、建設業は最悪の状況を呈している中で、今後景気回復を図るための方策として、観光客の誘致運動を官民一体で取り組み、行政側ももっと積極的な対応を望みます。それに対する予算もつけて欲しいと思います。全体的な消費拡大を図るにも、地元へ資金が落ちるような対策としても、観光客の誘致は効果があるはずです。
サービス業	タクシー営業	宮崎	市場経済の中で、大中小企業が共生できるような仕組みを行政がもっと提案し、議論し実行していただきたい！
サービス業	広告代理業	宮崎	雇用の促進による経済の活性化を期待
サービス業	コンピュータ販売	宮崎	景況においては地域間格差、業態別格差が広がっている。ただし、国の抜本的行革が浸透し、地域行政が変化したために行っている減少ではなく、変化の中での隙間産業、一部業種の先取り展開で、足腰の強い企業の伸張とは思えない。そのため、需要も一時的なものが多い。
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	全般的には、景気は回復していて、会社も黒字化している所が多くなっていると聞く。しかし、観光業に関しては、まだトンネルの中という状況である。個人旅行に対応した地域創り、受け入れ作りが急務だと思う。
サービス業	ホテル業	延岡	再三訴えています。延岡市でイベントをするにもスポーツ大会をするにも、施設が無い、整備されてないの理由から敬遠されている現状を本当に理解しているのか、正直疑問に感じている。スポーツをやっている人達の、生の声を一度、直接聞いてみる機会を設定してみてもどうですか、熱心の方が多いですよ！
サービス業	旅館業	延岡	高速道路ができて、今の街の状態であればますます客が少なくなり、何軒かの旅館、ホテルがやっていけなくなります。早急に街の活性化とスポーツ等あらゆる大会が、開催できる市にしていっていただきたいと思います。
サービス業	サービス業	日向	景気の上昇がみこまれるとしても、パート対応による人件費の削減に努力し、採算性を維持したい。定職志向の若いアルバイトを正規従業員として雇用する時代になるものか、地方零細企業の自助努力も必要だが、行政としての施策はないものだろうか。
サービス業	飲食業	日向	食品の原材料表示などの案がでてくるがコストがかかるだけでなく、食物に対しての知識や判断がおろそかな人が増えてくるように見える。表示や宣伝でなく、しっかりとした食材に対しての知識を持ってもらう事が大切ではないか。
サービス業	ホテル	高鍋	健全行政、外交回復
サービス業	ホテル	日南	・観光地の整備とPR、イベントの開催、観光客の誘致・グラウンド等のスポーツ施設をPRし、キャンプ、合宿等の誘致活動に努めてもらいたい

サービス業 警備保障

日南 今後、各施設は(県・市町村)指定管理者制度を全施設を対象とするのか。回答をお願いしたい。